

平成 28 年 9 月 7 日
豊 島 区

9 月期 区長月例記者会見

1、待機児童対策の新たな展開について

(1)区庁舎内「認可保育所」 来年 4 月開設

(2)待機児童対象「居宅訪問型保育事業」12 月スタート！

詳細についての問い合わせ先

保育政策担当課長 電話 03-3981-2019

※ 次回日程は、決まり次第、お知らせいたします。

新展開その1

区庁舎内「認可保育所」 来年4月開設

庁舎と同一建物内の認可保育所開設は全国初！

- 設置場所：豊島区南池袋2-45-3 としまエコミューゼタウン2階
- 運営事業者：(株)グローバルキッズ *区内5園（認可3園、認証2園）で運営実績あり
- 定員：60名（0～5歳児）

【参考】都庁舎内10月開設予定の「とちょう保育園」は地域型保育事業のひとつである事業所内保育事業

※事業所内保育事業は事業所内保育施設の一部を地域に開放するもの

「とちょう保育園」の場合、定員48名のうち地域枠は24名（対象0～2歳児）



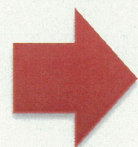
新展開その2

待機児童対象「居宅訪問型保育事業」

12月スタート！

待機児童対策のネック「施設不足」「保育士不足」解消の切り札！

- 事業対象者の拡大：現行の重度障害児に待機児童も対象者として加える
平成28年度：10名（12月開始）⇒事業費1,859万8千円（第3回定例会に補正予算計上）
平成29年度は80名に拡大、30年度以降は今後の保育需要や待機児童対策の進捗により実施継続を判断
- 事業メリット
 - ・用地不足が深刻化する中、施設を整備せずに保育需要に対応できる
 - ・施設整備に費用をかけることなく、毎年度の保育需要の変化にも柔軟に対応できる
 - ・ベビーシッターサービスへの抵抗感も想定されるが、保育園への送迎の必要がなく、本来なら1か月あたり40万円以上（Aランク事業者例）もかかるサービスを認可保育料35,000円で利用できるなど保護者にとってもメリット大
- 予定運営事業者：株式会社ポピンズ *区内1園（認証）で運営実績あり
ベビーシッターサービスが2016年第1回日本サービス大賞厚生労働大臣賞受賞



2017年度中に待機児童ゼロ達成をめざします！

豊島区の待機児童対策について

1 豊島区庁舎ビルへの認可保育所の誘致

区庁舎が入居している「としまエコミューゼタウン」2階に私立認可保育所を誘致する。

自治体の庁舎が入居しているビルへの認可保育所の設置は、都道府県や政令指定都市では例がないと思われる。

<園の概要>

- (1) 名称 (仮称) グローバルキッズ東池袋園
- (2) 所在地 南池袋2-45-3 としまエコミューゼタウン2階
- (3) 交通 東京メトロ有楽町線 東池袋駅 直結1分
- (4) 定員 60名(0歳児6名、1歳児10名、2歳児11名、3歳児11名、4歳児11名、5歳児11名)
- (5) 運営事業者及びその所在地
 - ① 運営事業者名 株式会社グローバルキッズ
 - ② 所在地 東京都千代田区富士見2-14-36
- (6) 設置予定年月日 平成29年4月

2 居宅訪問型保育事業の拡大

待機児童をゼロにするため、居宅訪問型保育事業の対象に待機児童を加える。

- (1) 事業開始年月日 平成28年12月
- (2) 運営事業者及びその所在地
 - ① 運営事業者名 株式会社ポピンズ
 - ② 所在地 東京都渋谷区広尾5-6-6 広尾プラザ5F
- (3) 定員
 - ① 平成28年12月～平成29年3月 定員10名
 - ② 平成29年度 定員80名
- (4) 保護者のメリット
 - ① 送迎をする必要がないこと。
 - ② 子どもが日頃から慣れた自宅で保育できること。
 - ③ 一般的に高額(※1)と考えられるベビーシッターサービスが、認可保育料(※2)で利用できること。
 - ※1 民間A社のベビーシッターサービスを1日8時間月20日利用する場合の保育料は40万円。他に入会金5万円、年会費1万円が必要。
 - ※2 乳児の平均保育料は、約35,000円/月である。

平成28年9月7日

保育政策担当課長

待機児童対策の進捗状況

- 1 平成27年度(4/2～)から平成28年度4月1日までに取り組んだ待機児童対策
当初予定していた保育の受入枠を大幅に拡充した。

【当初の計画】

項 目	人 数
私立保育園5園の新設	300
小規模保育所7園の新設	105
合 計	405



【拡充後の計画】

項 目	人 数
私立保育園10園の新設	819
小規模保育所6園の新設	103
合 計	922

上記以外に、区内の認証保育所2園をそれぞれ認可保育所1園と小規模保育所A型に移行させるとともに、区内の私立保育所1園の定員増(5名)も行った。

※ 区は平成20年度から待機児童対策を実施しているが、平成27年度の922名の定員拡大は過去最高の数字。

- 2 子ども・子育て支援事業計画の進捗現況(各年度4/1日時点)

	子ども子育て支援事業計画				実際に整備した保育受入枠				増減比			
	0歳児	1～2歳児	3～5歳児	合計	0歳児	1～2歳児	3～5歳児	合計	0歳児	1～2歳児	3～5歳児	合計
27年度	64	183	156	403	69	190	148	407	5	7	-8	4
28年度	51	184	170	405	88	337	497	922	37	153	327	517
29年度	30	112	68	210								
30年度	0	0	0	0								
31年度	0	0	0	0								
合計	145	479	394	1018	157	527	645	1329	12	48	251	311

上記の表のとおり、2年間で合計1329名の保育の受入枠を増やしてきた。

このことにより、3年間で1018名の保育の受入枠を作る豊島区子ども子育て支援事業計画を事実上2年間で達成したことになる。

3 平成28年度及び過去4年間の乳幼児数、保育需要数及び待機児童数の推移

(1日現在、単位：人)

年 度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	対前年度比
乳幼児数（※1）	9,675	10,136	10,502	10,874	11,097	+223
保育需要数（※2）	3,489	3,735	4,044	4,282	4,742	+460
待機児童数（※3）	129	270	240	209	105	-104

※1 ＝ 乳幼児数は、区民課の統計による4月1日現在における0歳～5歳の住民登録人口。

※2 ＝ 認可保育施設（認可保育所及び地域型保育事業）への入所を希望する児童数

※3 ＝ 認可保育施設への入所を希望したが、認可保育施設又は自治体の単独保育施策（例：認証保育所、千早臨時保育所及び定期利用保育）のいずれにも入所していない児童。

4 今後の待機児童対策

(1) 平成29年4月まで

- ① 認可保育所を9園から10園新設する。
- ② 認証保育所2園を認可保育所へ移行させる。
- ③ 居宅訪問型保育事業の対象に待機児童を加える。
- ④ 区立保育所の受入枠の見直し（1歳児の枠を増やし、0歳児の枠を減らす）
- ⑤ 緊急一時預かり事業（定期利用保育）の実施の検討

(2) 平成29年度末（平成30年4月当初）まで

- ① 認可保育所10園程度の新設
- ② 上記③の拡充
- ③ その他